

ハートコミュニケーション

# 栄八通信



武雄市議会議員  
宮本 栄八  
武雄町野間 TEL・FAX23-0750  
発行部数 11,200部

## 二〇〇mの世界一の登り窯計画 今回、四〇〇m分を整備する。

### 予算額三億一千万円付く

### 市長の現実的な妥協案で前進！

#### 「これまでの経過」

昨年夏に石井市長が、市内陶芸家の案をヒントに、登り窯建設と周辺整備と用地及び造成費を、各一億円の三億円かけて、武雄古窯跡公園を焔博の記念として整備する計画である。

色々の問題点がある中で、同志の議員は次の三点について特に明確な答えがなければ賛成できないと考えていた。

それは、次の  
①図書館建設等との優先順位問題  
②焔博までに二百米が完成可能か  
③後の維持費の提示と燃料の確保

であるが、九月議会では、雲をつかむような話で素人と素人が話をしている状態。具体的な資料が無いと賛否が決めかねることからコンサルに計画策定料八〇〇万円を発注することが提案され、少々高い策定料も、完成後の維持運営の計画まで作る約束で九月議会です算がつき、十二月議会を迎えた。

#### Q 図書館等との優先順位は

#### A 公共施設基金に二億円！

市長の思いつきによる、世界一の登り窯の事業よりも、財政がき

ば、世界一では無いのでは、という問題がある。市長は、スペインの芸術的な建築家、ガウディの有名な、ファミリア教会の事を例に一九〇〇年建築から、まだ未完成で、今だに作られている事を言い、この登り窯も、何年もかかっても絶対に、二〇〇mの世界一を作るという意志は、相当固い!!

#### Q 維持費の提示・燃料確保

#### A 裁決前日提出・赤松OK

事によっては、大もめになる可能性もあった。それは、維持費や運営費が解らないと、賛否の判断ができないとし、コンサルに発注したが、二月にしか計画策定書ができないと言う。しかし、一月から着工しないと七月二十日の火入れ式に間にあわないとして、十二月議会に予算案が上程されていた。

この問題については、十二月議会の説明会。いわゆる議会前の会派勉強会で、公共施設整備基金と

いって、大型の施設建設の為に、事前に積み立てるものがあるが、それに、図書館等のために、二億円を積み立てる案が示された。

#### Q 焔博まで二百米可能か

#### A 四十米でその後二百米

ご存知と思うが、四〇〇mを焔博までに完成させる案が出された。

市長の説明を素直にとると、錆谷窯跡の四〇〇mと、まず肩を並べるという理由だ。私の見方は、当初発言した、三億円の規模を変えないで、最長にした結果が四〇〇mになったと思っている。とりあえず、可能な長さを決め、予定金額

内の提案には、やむなしの感。ところで、四〇〇mの長さですれ

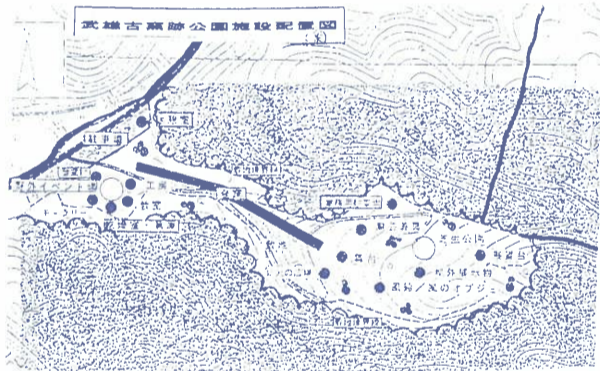
で、その確保の問題もある。

最近の市長の話では、中国では、石炭を燃料にした窯があるそうで、市長は、中国の陶器の中心地の景德鎮に視察に行きたいらしく、商工会議所にもツアーを組まないかと提案しておられた。私も市長から景德鎮に視察を進められ、はいと言ったが、まだ妻には言っていない。

その後、まき専門屋を市が調査した所、赤松の確保は十分にできることが解ったと言う。

### 世界一の登り窯百一米でギネスにのるはず！

私の、現在の考えは、ここまで来たら、焔博だから、どうのこうのではなく、武雄市の観光の目玉になるように、世界一を目標とがんばろう！しかし、市長が、考える世界一は、古文書に記される、百七十数mを越えることが目標だが、私は、今現に、存在する中で、世界一とされる一〇〇mの登り窯が目標で良いと思う。そして、後の一〇〇mに使うための予算を、古窯跡公園の全体的内容充実にあてた方が、観光客や市民の為にすると確信するからである。



通常管理に580万円、イベントに260万円を予定



この谷を造成する 黒牟田焼の入口近く

### 現在の世界一は臥龍窯



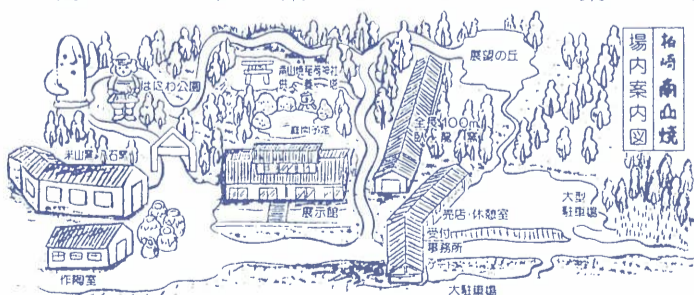
武雄の登り窯が、まず世界一と

言うためには、今、世界一とされる登り窯を超えないといけない。現在、世界一とうたっているのは、新潟県、柏崎市の南山焼の臥龍窯で、テーマパーク的な整備がなされ、その経営主体は、柏崎パライズ観光(株)という、民間企業である。

主要施設は、下のとおりです。ところで、南山焼が始められたいきさつは、足利で働く一サラリーマンが、知り合いの陶芸家から、世界一の登り窯の案を聞き、それはおもしろい話した、一緒にやろうとなった。たまたま、不動産業の弟さんの紹介で土地を確保。

しかし、頼りにしていた、発案者の陶芸家が、この事業から去っていった。

やむなく、意を決して、サラリーマンを止めて、素人だが自ら、陶芸家に転職して、南山焼の施設を



1. 世界最長 100m登り窯 (臥龍窯)
2. 20m登り窯 (米山窯)
3. 10mあな窯 (八石窯)
4. ガス窯 (呑龍窯)
5. 陶芸教室 (手造り、ロクロ、絵付け体験コース)
6. はにわ公園 (はにわの数、約200体)
7. 大展示場 (100mから出された作品、即売品の展示)
8. 駐車場 (大型バス20台、乗用車100台)
9. 休憩室 (120名収容)

運営している。毎年五月・十月には陶芸祭を行ない、雪に閉ざされる一月から三月までは、陶器の外商に出る。  
このように、世界一の登り窯へ挑戦する事になった、きっかけが武雄市の場合と同様の発想であるので、素人の石井市長さんが陶芸家に転職しなくてはならない、市民・陶芸家が、しっかり協力して、維持発展させなければ大変なことになる。  
ところで、南山焼の施設は、入場料五百円や陶芸教室手造りコース千八百円など、利用料金を取っているが十分でなく、焼いた陶器の販売もして維持していると言う。投資金額は五億円。  
また、百米の臥龍窯は、今まで一度しか、焼かれていない。そこで焼く品物は、二人で四千二百点を作りだめしておいて、多くの人の手助けを受けて、百二十日(四ヶ月)昼夜焼き続け、燃料の赤松は八百トン以上燃したと言う。  
無袖・焼メでの方法であったことから、うわ葉で焼けば三分の一と言われるが、最低一ヶ月は焼かねばならず、市民の協力が必要。

# 行政改革大綱姿を表わす

## 三月には実施計画提示

行革については、市報の一月一日号で、ある程度ご存知の方も多しと思えます。

行革の目的として、「社会環境の変化に伴う新たな課題と広範かつ高度になった市民ニーズに的確に対応し、時代に即応した簡素で効率的な行政システムを確立して个性的で魅力的な地域づくりを推進し住民福祉の増進を実現する。」となっています。

また、平成七年度から平成十一年度までの五カ年を計画期間としていて、現在も期間中というところになるわけである。

ところで、具体的な方策は四部に別れていてその中で私がポイントと思う所を要約して、市民の皆様にお伝えし、三月にまとめられる実施計画が本当に市民の為に改革になるように、まずは、行革大綱はいかなる内容かを、お知らせして市民論議の醸成を促したいと思えます。

### ① 事務事業の見直し

- (1) 事務事業の改善具体化運動実施
- (2) 事務処理のマニュアル書の作成
- (3) 窓口サービスの向上
- (4) 申請事務手続等の簡素化迅速化
- (5) 住民票等の自動交付機設置検討
- (6) 市民ホール改善と記載指導向上
- (7) O.A(機械)化を推進する
- (8) 業務の民間等の外部委託の推進
- (9) 学校給食を市営を見直す
- (10) 文書の保管・廃棄システム確立
- (11) 補助金見直し、使用料の公平化
- (12) 庁舎を市民に分り易く整備

### ② 組織・機構の見直し

- (1) 類似する課や係の統合を実施
- (2) 各課・係が連携する組織弾力化
- (3) 意思決定システムの改善
- (4) 部制の導入を検討する
- (5) 中間職制の在り方を検討
- (6) 責任と権限の明確化と委譲
- (7) 担当者に権限責任を授け効率化

### ③ 職員の活性化と人材育成

- (1) 人材育成と研修制度
- (2) 研修プログラム作成と研修強化
- (3) 民間派遣や民間からの人材登用
- (4) 提案制度の充実
- (5) 改善実施報告制度の導入
- (6) 人事管理の適正化
- (7) 年功序列制度の在り方の再検討
- (8) 適材適所の配置(女性等)登用
- (9) 新採職員の職種循環制度確立
- (10) 専門化対応スペシャリスト育成
- (11) 少数精鋭で職員数の抜本見直し
- (12) 会議をルール化し、効果的運営

### ④ 住民参加行政の推進

- (1) 行政と住民の役割分担し効率化
- (2) 住民参加システムの確立
- (3) 市政モニター、市民懇談会、市民意識調査等の実施
- (4) 広報広聴機能の充実で積極的な市民参加を促し、市民の声を行政に反映させるシステムの確立
- (5) 行政と住民の協働体制
- (6) 地域福祉・青少年教育・環境問題・ゴミ問題等、官民協力確立
- (7) 以上、武雄市行政改革大綱をできるだけ一行に要約しました。

ところで、社会を変える時に、革命について、大きなものが改革であり、古今東西、総論賛成で各論反対が常であるが成否を決めるのは、トップの信念とリーダーシップにかかっている。私は石井市長の政治生命をかけての対応を望む。単に事務改善と、「市民負担の拡大ではこまる。痛みを皆で分か合い、将来の武雄の為に」

# 市長・助役・収入役 議員報酬アップ可決!!

## 本気で行革する気あるのか 疑われてもやむなし!

今、十二月議会、いきなり報酬アップ議案が出て来た。私は、反対にまわった。

その理由は、次の論点からだ、  
① 学校給食民営化などの血のじむ行革をせねばならないとし、今三月には、実施計画を出す矢先。一月から、「我々は別、お先に失礼。」では、学校教育や福祉も聖域でないの方針と落差が大きい。  
② 鹿島市より、報酬額が一万円高い理由として、杵藤地区のトップリーダーだから、格上げが必要とされるが、市民から見れば、そんな格上げなんて、何の意味も持たない。見栄のために、血税を使われては、たまらなはずだ。  
元来、三役や議員が自分達の給料を、自分達で認めるのだから、お手盛のそしりをまぬがれない。他の人から上げるべきだと言われて、順うという形になる。

武雄市も、条例で特別報酬審議会が開催されている。一般的には、事務局案を承認してしまう傾向になりがちだが、今回は、多様な意見が出たと聞いている。議会の採決においても、三つ前ぐらいの議題から、議場を二人三人と退席する議員がふえていった。

要するに反対の意志の基に退席したのである。私はもちろん議場に就いて反対を表明した。

しかし、賛成多数で可決した。その後の、賛成した議員のなかから「賛成多数で、上ると思って反対したとやろ」と言われ、また、「そいざなら、職員給料のアップの方は、なし反対せんや」とか。と言われた。

私の考えは、職員は人事院勧告に従ってさしつかえないと思う。最低、行革を命じた市長及び行革を望む市民の代理人としての議員は、血のじむ行革の提案者であり、意を決した推進者であると思うからである。

適正な報酬を払うことは、やさかではないが、以前の財政再建のおり、牟田前市長は、自らの報酬を下げて、事に対したと聞いている。

今回、下げまではせずとも、武雄市が二・三年に一回の報酬改定するとう、好景時代のローテーションにとられず、行革が一定の成果を出してからの改定でも良かったと私は確信している。

## 市長決断

# 図書館は平成十年度着工明言

## 歴史資料館も同時に、工費二十億円か?

今回も、議員数名が図書館問題を質問するよう予定されていた。先にも記したように、公共施設整備基金が残高五億六千四百万円ある。それに、二億円が積み立てられる補正予算が、将来の図書館建設を目的としたものと言うことを、議会前の予算内容説明で聞いてはいたが、どうせ具体的建設時期は、いつのことやらと思ってい

たわけである。ところが、本議会で、建設の時期についての質問が出て、市長がどんな顔で何と答えるか市長の方を注目していると、右側の田中教育長が、通常の倍と思える早さで、風を切って答弁台に、何かあるなと感ずる。

ああそうだ、図書館等の文化・教育は、基本的には教育長方針、財政は市長となっているのだ。もともと、文化や教育については、一概には言えないことばかりで、教育長の答弁も説明が長い、今回は、市長が決断をし、市長と教育長が図書館問題に十分整理・確認されているのを感じた。

答弁の内容は、図書館建設は、平成八年度に、基本計画策定。平成九年度に、実施計画策定。平成十年度に、建設に着手。さらに、図書館と歴史資料館は、同時に進める予定で、建物がかつ二つに分れるかは今後検討。とはっきりと明言された。三カ月前

の九月議会から考えれば信じがたい変化であるが、市民の望んでいることが一つかなうことを今は素直に喜びたい。ところで、図書館問題がここに至った要因は色々あったと思うが、忘れてならないのが、図書館を考える会の皆様の努力である。松尾善章会長、後藤明子事務局

長はもちろん、特に、数十名の女性を中心とした会員の方が、ある時は、手書きの会報を作り、先進地を視察し、また新設図書館から講師をよび勉強する一方、図書館建設へのアピールと、会の運営資金を自ら作るために、古本市もされてきた。

一方、市議会にも、図書館の質問がある時は、傍聴に来て、熱意というか、執念が感じられるくらい、地道な活動を続けられていたことが、今日の結果に少なからず影響したと思う。

さらに、「最近思いついた登り窯建設の前に、約束した図書館を作れ」という、お母さんたちの口コミが、けっこう市民に浸透して、世論喚起がなされ、今回の答えを引き出したと、私は見ている。ともかく、事業実施が明確にされたのであるから、今後は内容について、ほんとに役に立つものになるよう、みんなで知恵を出そう。追伸、解りやすく伝えるため、図書館、歴史資料館と書いたが、それぞれ、総合情報センターと、歴史・未来センターと仮称がつけられ、文化会館と合わせて、文化学習ゾーン。また、武雄神社や梅林などをふれ合い・体験ゾーンとし、その二ゾーンを市民文化の森とするのである。



特別職報酬等 (月額) (千円)

	市長	助役	収入役	議長	副議長	議員
武雄 (H.8.1)	905	715	634	464	392	364
鹿島 (H.7.12)	894	702	624	459	386	358

類似市の状況 (H.6.4.1現在)

県	都市名	人口	議員報酬	定数
		千人	千円	人
佐賀	武雄	3.5	350	26
	鹿島	3.4	345	24
熊本	水保	3.3	329	22
	山鹿	3.4	332	22
大分	宇土	3.5	337	22
	杵臼	3.8	320	20
宮崎	西都	3.8	306	24
	小林	4.2	298	24
鹿児島	指宿	3.1	259	22
	名瀬	4.5	300	26
沖縄	平良	3.4	330	22
	石垣	4.3	352	22



# 12月定例議会

12/5 ~ 12/25

## 私の一般質問

### 1 粗大ゴミの多量排出について

収集方法に問題あり

杵藤クリーンセンターにおける粗大ゴミの処理量の集計によれば人口の類似する鹿島市とくらべた場合、平成六年調べでは、可燃物や不燃物は、ほぼ同じであるのに粗大ゴミについては、鹿島が、一六三トンの間に、武雄市において、四七四トンも排出がある。

ここで、両市の収集方式を見ると、鹿島市は、県内の多くの市と同様の有料ステッカー方式で、地区単位の集団収集方式である。

武雄市の場合、指定業者に電話して、トラック半分で行くなどという、個別収集方式のため、同じ料金なら、「ついで出し」が多くなり、鹿島の約三倍にもなる原因だと考えられる。収集システムを再検討すべきではないか？

回答 両方式の併用も検討する。しかし、ステッカー方式は、地域ぐるみの協力が必要になってくるので、各地の集団回収を推進して行くという回答。

### 2 アルミ等の資源回収について

アルミ・ビンはほとんど埋め立て!!

私は、武雄市の不燃物処理は、分別収集車むつごう号のように、アルミ・鉄・ビン類に分けられて最低、資源価値のある、アルミぐらひは、再利用されていると当然のように、思っておりました。

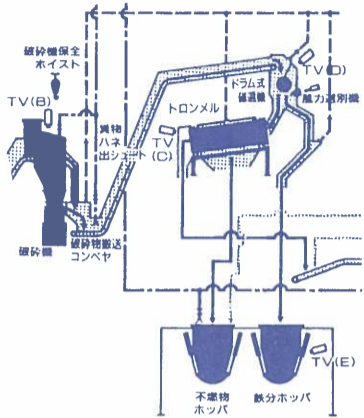
しかし、調べますと、集められた不燃物は、分別されず、大きなミキサーのような機械で破碎され、磁石によって、鉄分だけを回収するだけで、アルミやビンはただ何トンも、むなく埋立てられていることを知り愕然とした。市民の多くは、この事を知らないと思うので、再資源化されてないことを、はっきり広報し、婦人会活動のみ頼るのではなく、新たな不燃物の再資源化・減量化のシステム作りをすべきと思うが？

回答主旨

平成九年度には、国の、容器包装リサイクル法ができるが、それまでに少しずつシステム改良に努めるとの回答。

解説

また、鹿島は、カン・ビン・その他を昨年八月より袋を分けて回収し、不燃物のセンター持込みを半減させている。



粗大ゴミ用の機械で不燃物（ビールカン）も処理され鉄物だけが回収されるが、アルミやビンは埋め立てられる。

### 3 公営住宅の建設地の選定

今後は各地に公営住宅つくれ!

武雄市の定住人口の拡大と、均衡ある市内各町の発展のためには、

公営住宅の果たす役割は大きいと思う。しかしながら、川良・甘久・中野に集中しているようだが、建設地選定にあたって、どういう方針に基づいてやっているのか？

回答

現在は、古い住宅の立て替えを推進している状況で、二元の場所に建設している。

### 4 栗原住宅周辺の道路整備

この辺の道路はもはや安全問題だ!

栗原住宅は、今度約四十八戸を建て替える予定と聞かすが、周辺の道路整備がされてなく、最低、石木線の約十mを拡幅して、工事車両や住民の安全、利便を図るべき？

回答

平成九年度の県事業の道路整備の中でやっていく。

### 5 高齢者向住宅への取り組み

多様な公営住宅必要では

マスタープランの目標年次は、平成十二年であと五年しかない。しかしそこに記されている、高齢者向け住宅はまだ建設されていない。老後を安心してくらせる、安価で、できれば木造の住宅を実験的にでも作るべき。

回答

高齢者だけが集中するのは、問題もあるが、今後検討してゆく。

### 6 保養村整備と市民の望む公園の差について

保養村は公園でないなら公園は!

そもそも、行政の存在意義は、市民のニーズを整理し、優先順位と財政規模を定め、すみやかに実行する事だと思えます。では、市民ニーズは、どこにあるかを考えますと、私がすぐ頭に浮んでくるのが竹下首相の時のふるさと創生一億円事業の際に武雄市で実施されたハガキによるアイデア募集や、その後三回の市民会議である。その中で、何百もの案を三つに集約され、それは、公園・観光の目玉・若者を中心とした人材育成だったと思います。とくに、みゆき公園のような、親子が一日遊べる公園を望む声が多かったと記憶しています。また、その会議の中で、市から保養村の裏に野外コンサートも可能な広大な緑地を作るような話もされたと思う。

私も自身も、みゆき公園を重ね合わせながら、保養村の公園整備を心まわらしていた訳です。ところが、この第二次整備計画を見ますと、県の宇宙科学館や簡保のアネックスは別として、当の武雄市の整備内容を見ると、トイレ・道路・用地費が予算の中心で内容は、山歩きや川遊び保養のスコレゾーンである。

しかし、市民の望んでいる公園は、草スキーやサイクリング、小動物とのふれ合い、子供がころげて遊べ、若者が寝そべる、芝生緑地、親子のレジャー的ものだ。そこで、問題となるのは、この保養村の第二次整備基本計画が、十分に市民の意見を聞かれて、作られたのかという原点到らねばならないと思う訳です。

幸いにも、まだ予算づけがなされていないのが基盤整備の部分であるので、もう一度、あくまで①学習や自然体験のスコレ的整備か？②市民の望む活動的で、人の集うレジャー的な整備に方針転換か？③また地域を分けて両方をするのか？、市民に公園整備の方針を再度、問うべきと思うが市としての考えはどうか尋ねる。

回答

保養村は、スコレ的な整備の方針である。さらに、もともと公園ではないと市長の答弁。課長は、第二次整備案は、企画情報課で作成した。今後は市民の意見を聞きながらやる。

### 7 市長と市民の対話場づくりについて

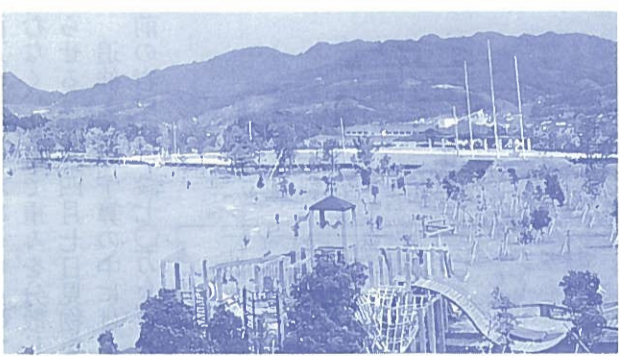
市長の考えが解からん市民多し

今、武雄市は、市の命運をかけた決断の時期を迎えている。そんなおり、武雄病院問題について、市民が概容を知ったのは、反対運動のピラからでありました。イズミ問題についても、さらに登り窯問題についても、市長の意向する所が、どこにあるのかが市民に十分に理解されて進んでいったとは思えません。

このような事から、井本知事が、されている「ふれ合い懇談会」のような、市長が各地に出向いて、意見交換の場を早急につくるべきと思うが？

回答主旨

テレビでも、解ったと視聴者が言うぐらい、市長は顔を紅潮させて「井本知事よりもっと良い物をやる」と明言。即実行を!



山茶花高原と人気を二分する嬉野町みゆき公園

## 満員御礼 傍聴席

十二月議会は、多数の一般質問の傍聴者でにぎわった。ある日は婦人会や国立病院・図書館等に、関心をおもちの方で満席立見状態だ、私が議員になってから初めてのこと。議事進行の声がかかり休憩入り、数十分待って体験の方もいた。ともかく名前と住所を書けばすぐ傍聴できます。

## 市議会活性化進む

一般質問者十七名で、議会開会一時間くり上げる異例の措置。この原因に、議員定数削減問題の提案者のM氏が、「若かもの質問もせんようじゃ、いらん。」の言葉が、要因の一つかもしれないと私は思っている。

## 全国ニュースになった

## 住専処理問題に意見書

武雄市議会は、国の住専処理への公的資金の導入に実質反対の意見書を当時の村山首相と武村蔵相に送付した。これが、久米さんのニュースステーションなど全国的に報道されて一躍脚光をあびる。発案は、総務委員会だが、議会では全員賛成で、同委員会に感謝と、この意見書は毎議会、三つぐらいは提出して、今回もこの他に、沖縄少女拉致問題に日米地位協定の見直しなど提出、また、学校の五日制に合う学習指導要領の見直しも提出した。

## 【継続審議の報告】

○議員定数問題 (削減理由が審議未了のため) 担当は議員定数問題特別委員会 大坪委員長 他市視察議員の意見聴取中

### 国立武雄病院問題の最新の情報

その前に、この問題の基本を確認しておこう。「市は、武雄病院を自ら廃止する事は無い。もし、廃止になる時は、今より市民の為になる病院ができた時」であり、まだ、単に武雄病院がなくなると心配している市民が多くおられるようだが、ご安心を。

今、より良い病院づくりの為に医療審議会(各種団体の代表)や専門委員会(医療関係者)で話し合いがもたれている。十二月にはコンサルタントからの最終報告的なものが提出される約束になっていたが、レセプトと言って医師の診療請求書から、市民が何の病気で、どの病院に行ったかを調査する中で、市民の医療に対するニーズを知るべく調査していた。その整理に時間が、かかって今年一月に、審議会の意見集約が遅れているという説明。

- 現在までに、審議会で議論された理念六項目を、お知らせします。
- ① 二四時間救急と二次的救命救急
  - ② 地域責任病院とし慢性疾患診療
  - ③ 保健予防活動と診療の個人把握
  - ④ 地域の保健医療福祉機関と連携し、病院機能を開放する。
  - ⑤ 在宅医療の充実を図る。
  - ⑥ 地域医療活動の質の向上に寄与
- また、保有すべき機能について、たぶんこの辺が議論中と思うが、
- (1) 一般病床は、一〇五床とする。
  - (2) 内科・外科・小児科・整形外科
  - (3) 理学診療科を有する。さらに泌尿器科・神経内科・耳鼻科は当面、週二〜三回の出張診療。
  - (4) 産婦人科については、地域内で充足しているため、産科は設けない計画で、総合病院でなく、総合的病院として診療する。
  - (5) 高齢者の経年的な増加を考慮、保健・福祉増進の為、敷地内に

- ① 市・保健センターの設置
  - ② 老人保健施設の設置を行う。
- なお、老人保健施設には、八十床、ショートステイ十床、デイケア十五席設ける。

以上の病院機能については、私が、少しでも状況をお伝えして、市民の医療問題の進捗に対する不安を軽減するために、基礎資料から要点を、お伝えしましたが、あくまでも、市の正式発表ではない事を念を押します。

なお、杵藤地区の老人保健施設の整備は、目標六一六床に対し、一六〇床で、四五六床は未整備。

### 学童保育の実施を明言 財政課長もOKだす

この制度は、共稼ぎや留守家庭において、保育園時代は延長保育などで夕方、仕事が終るまで保護してもらえなかったが、小学生になればそれが無くなるわけであり。最近では、幼稚園も送迎バスなど完備され近所の子供でも、ちがう園に行き、小学生になって友だち作りにも時間が、かかる傾向にあります。その様な環境の中、家庭でカギっ子状態にある子供を、具体的に保育しようとするものです。

具体的には、児童二十名を一クラスとして組織し、その保育にかかる費用を市が支出する児童福祉政策で、県内七市で武雄市だけが取り組んでいない。井手議員の質問に庭木福祉所長、努力を明言。財政はだいたいようぶかの質問に、古賀財政課長も前向き発言。

### 参院補選で事務費はいくら?どこが払う

聞きあきたと思うが、「小さな県の大きな選挙」で、候補者より応援者が活躍した補選。最終日には、物産祭り会場前に、橋龍氏も来た。残念ながら、まだ首相でなかったせいも、同時開催の企業カオケ大会の方の聴衆が多かった模様。また、橋本聖子の大腿に触れさせて頼んで、断られた者もいたなど、我々に、色々の経験をさせてくれた佐賀選挙区選。ところで、この選挙で武雄市が支出した事務費は、一千三百八十八万円で内訳は、立合人報酬が約百万円、選挙事務職員に五百九十万円、バイトに百三十万円、ポスター掲示板設置謝礼三十三万円などが、全額県から補填される。

### 平和のミニチュメント「高い・高い」なの?

十二月末、戦後五十年を記念して平和の像が、文化会館裏の勤労青少年ホーム前に、市費で建立。乳白色の陶器製で素朴な中にも存在感がある。抽象的な像で、何を表すか見る人しだいと言うが、

- ① 親(大人)が未来を作る子供をしっかりと支え、平和な青空に、俗に言う高い高いをしている説と、
  - ② 丸い所が地球、その下が笹舟で大宇宙を旅し、その舟は人類の協力や支えによって平和な航海がなされて行く。など考えられる。
- ほら、あなたは、もうじつとしてはいられない!必ずこの平和の像を見に行くはず。そして、像が何を表すか?地球・人間・平和、本当の幸せを知るかも!

### ライオンズ好プレー!

JR高橋駅前駐輪場整備される。このほど、自転車駐輪場のなかった高橋駅前に、三一五万円かけて整備がなされる。整備にあたり市が四五台分を整備するが、ライオンズクラブも四五台分協力して九〇台分が整備されるみごとな連携プレーに感心。もちろん、これは西武でなく、武雄・中央のライオンズクラブであります。



唐津の児童センター、ねんど絵画教室もある



整備予定のJR高橋駅前

**春祭の山車を改修 秘密の車を取り付けて六輪車となり今春出番**

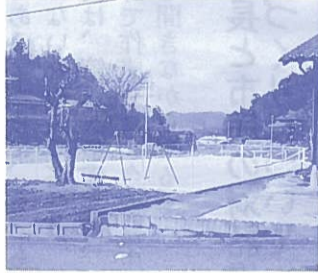
このほど、山車が二〇五万円をかけて車輪部分の改修がなされる。まさか、ABSやスタッドレスタイヤでも付けるのかと、金額を見て思った方もいるでしょうが、下の設計図のように、山車の内側に、ゴムの車輪を六個つけ、前の二つが自在に動くしかけだ。

なぜこんな事をするかと言うと今、温泉近辺は、レンガや絵タイルで整備され、現在の木に鉄輪を付けた車に乗って割った場合、数



春祭の山車を改修

百万の弁償を求められるので、やむなく、六輪で重みを分散して走らせる。ぜひ四月七日見物を、追伸・この予算の中には、楼門前の岩戸の新設七〇万も含まれる。



春祭の山車を改修

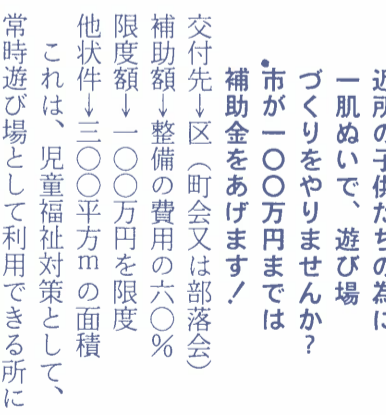
知っていますか補助金  
ちびっこ広場

近所の子供たちの為に一肌ぬいで、遊び場づくりをやりませんか? 市が一〇〇万円までは補助金をあげます!

交付先↓区(町会又は部落会)  
補助額↓整備の費用の六〇%  
限度額↓一〇〇万円を限度  
他条件↓三〇〇平方mの面積  
これは、児童福祉対策として、常時遊び場として利用できる所に

遊び場	造成費・土地取得費
遊具	各種遊具
建造物	便所・砂場・手洗・外灯

などが整備できます。私も小さい頃、近くの遊び場で、ある時はたまごとして大切にされ、時には鍛えられて、楽しく成長できた。



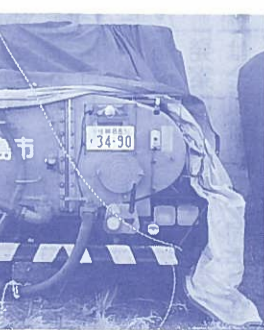
十二月議会は、十七名の一般質問者と婦人会の会上げでの傍聴で議会は活気をおびた。婦人会の皆様は、さらに自分たちの意見をいかに議会に反映させるかも研究して、市民を含め行政を監視する、オンブズマン武雄を目ざしては。今回、市長が明言した、市民との懇談会も、市民の参加と発言がまず基本となると思います。

一方、市長も、事業決定にあたっては、市民の声をボトムアップして進めると明言しているし、「市長は政治家ではなく、マネージャーである。」と石井語録。国やコンサルが社長でなく、市民が持株社長で、市長がマネージャーであってほしい!

今後のプランは私が質問し認められた事業が来年度予算査定に反映されているかを調査する。

くみ取り料値上で要注目  
鹿島市は半分の八円値上  
ねらいは、交渉のあり方

鹿島の課長B氏は言う、今回市長は、市と業者や県との交渉のあり方を再検討していて、このくみ取り料金値上げ交渉に桑原市長は政治生命をかけた、それを可能にしたのは、市民の応援と職員の協力だったと振り返る。業者からでなく、市のはじいた計算をもとに交渉し、妥結したという。



交渉決裂にそなえて購入していた鹿島市のバキュームカー4台あった

### 編集後記と今後のプラン